

令和8年第4回議会運営委員会 要点記録

| | | | | | | | | | |
|--------|----------------|-------|----|------|-------|------|------|----------------|----|
| 開閉会日時 | 令和8年4月13日（月曜日） | | | 開会 | 10:58 | 会議場所 | | 別海町議会 委員会室1 | |
| | | | | 閉会 | 12:11 | | | | |
| 委員の出欠 | 1 番 | 市川 聖母 | 出席 | 2 番 | 吉田 和行 | 出席 | 3 番 | 高橋 真結美 | 出席 |
| | 8 番 | 田村 秀男 | 出席 | 9 番 | 小椋 哲也 | 出席 | 10 番 | 外山 浩司 | 出席 |
| | 11 番 | 今西 和雄 | 出席 | 15 番 | 戸田 憲悦 | 出席 | | | |
| 委員外の出席 | 議長 | 西原 浩 | | | | | 合計 | 1名 | |
| 事務局職員 | 局長 | 入倉 伸顕 | | 主幹 | 武田 文吉 | | 合計 | 2名 | |

会議に付した事件及び会議結果など

| 発言者 | 会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。 |
|-------------|---|
| 委員長 9番 小椋 | 10:58 開会・挨拶 |
| | 会期1日、出席委員8名、委員外1名 |
| 事務局長 入倉 | 議事1 議会の運営に関する事項 |
| | 1 予算決算審査特別委員会における副委員長の対応について 令和8年3月12日の第8回予算決算審査特別委員会で、副委員長が副委員長席から質問した事例が1件あった。北海道町村議長会へ照会した結果、副委員長に関する明確な参考書はないが、副委員長席は委員側と一線を画す印象があり、委員席で発言することが適切ではないかとの見解が示された。今後の対応案として、案1（副委員長席に着席し質問時は委員席に戻る）と案2（副委員長は常に委員席にいる）の二案を提案する。 |
| 委員長 9番 小椋 | 案1のメリットは副委員長が委員長席の隣で経験を積めること。デメリットは質問のたびに席を移動する煩雑さから質問を抑制する意識が働く可能性がある点。案2は活発な質疑を重視する形。 |
| 委員 3番 高橋 | 委員長の体調不良時に副委員長が隣にいれば対応しやすいメリットがある。局長でも対応可能か確認した。 |
| 委員長 9番 小椋 | 急な体調不良の場合は局長が休憩を挟んで対応を調整することは十分可能。 |
| 委員 1番 市川 | 副委員長席に座ることの進行上のメリットについて、経験者の意見を伺う。 |
| 委員長 9番 小椋 | 委員長として一人で座った経験から、通告外の質問への対応など、副委員長が隣にいると助かる場面はある。ただし1～2回経験すれば慣れる面もある。 |
| 委員 10番 外山 | 初めて委員長を務めた時、仲間内からのサポートとして発言者の名前を教えてもらうなど、局長とは違う場面での補助があったため、副委員長席にいた方がよいと考える。 |
| 副委員長 11番 今西 | 副委員長席は委員長になるための登竜門であり、あの場に座って委員長を補佐することで学べるものがある。質問したい場合は委員席に戻ればよい。会議規則で禁止されているわけではない。 |
| 委員 8番 田村 | 予特の委員長は回り順で必ず登竜門になっている。副委員長はあの場に立っているんなものを見たほうが、次の委員長になる上でかなり必要。質問したい場合は委員席に戻ればよく、会議規則で禁止されているわけではない。委員長を補佐しようと思って真剣にやれば、質問するような余裕はないはず。 |
| 委員 15番 戸田 | 勉強のつもりで隣に座り、質問は他の委員にお願いするやり方もある。 |
| 副委員長 11番 今西 | 副委員長席での起立採決時に意思表示を忘れてしまい、反対と取られた事例が最近あった。採決時の対応も注意が必要。 |
| 委員長 9番 小椋 | 採決時と質問時の流れを事前に打合せすることが重要。 副委員長は副委員長席に着席し、質問時は委員席に戻るをベースとする。事務局で質問時・採決時の事務的流れを整理し、6月定例会の予算決算審査特別委員会から適用を目指す。 |
| 委員 一同 | 異議なし。 |
| 委員 3番 高橋 | 宮越委員長から分担したい旨相談があった。 |

令和8年第4回議会運営委員会 要点記録

| | | |
|------|--------|---|
| 事務局長 | 入倉 | 委員長が会議の場にいる限り、委員長が進行するのが原則。体調不良の場合は早退という形で対応すべきであり、分担するという運用は適切ではない。 |
| 委員長 | 9番 小椋 | |
| 事務局長 | 入倉 | 予算決算審査特別委員会の正副委員長会議で事務局と共有を図るよう願う。 |
| | | 議事 1 議会の運営に関する事項 |
| | | 2 令和7年度議会モニター活動状況について |
| | | 令和7年度のモニター10名の活動実績を報告。交付式含めトータル19回、傍聴・視聴数延べ45回。 |
| 委員長 | 9番 小椋 | 参加できない方への対応を検討したい。 |
| 委員 | 2番 吉田 | YouTube配信について、一本の長い動画では見づらい可能性がある。分割配信の検討や、見づらさに関するアンケートを実施してはどうか。 |
| 委員 | 10番 外山 | 日常的な接点の中でモニターから意見を拾い上げる方法もある。町民としての意見を聞く場を議員側から作っていくことも有効。 |
| 委員 | 8番 田村 | 自ら手を挙げてモニターになった方が1回しか来ないのは本人の責任もある。YouTubeも整備しているのに活用されていない現状がある。 |
| 委員長 | 9番 小椋 | モニターには報奨金を払っており適正運用の観点は重要。ただし、モニターの状況を町民に置き換えた視点も必要。 |
| 議長 | 西原 | 令和6年度にゼロだった人もいた。報奨金2万円も支払っている。議員推薦のモニターには推薦した議員がもっと接点を持ってほしい。定例会ごと（3ヶ月に1回）に活動状況を確認すれば、ゼロの人への早期の働きかけができる。また、新モニターの大谷氏（地域おこし協力隊）から、本会議の写真撮影とSNS投稿の可否について問合せがあり、現在回答を保留中。傍聴規則の見直しのきっかけになる。 |
| 委員 | 8番 田村 | 傍聴規則では撮影禁止だが、議長が特に認めた場合はこの限りでないという規定がある。 |
| 委員 | 2番 吉田 | 全国・全道でSNS対応の傍聴規則改正がどの程度進んでいるか、データとして確認したい。 |
| 委員長 | 9番 小椋 | 議長会へ問い合わせて標準的な対応を確認した上で、別海町としてどう対応するか検討する。 |
| | | モニターの活動状況は定例会ごと（3ヶ月に1回）の確認を事務局で検討する。参加が少なかった方への個別聞き取りと、YouTube視聴に関する全体アンケートの二つのアクションを進める。傍聴規則における写真撮影・SNS投稿の取扱いは、事務局が議長会へ確認した上で次回議論する。 |
| 委員 | 一同 | 異議なし。 |
| 委員長 | 9番 小椋 | 議事 1 議会の運営に関する事項 |
| | | 3 常任委員会の活動に関する申合せ（原案）について |
| | | 令和4年改正の「常任委員会調査計画の推進」と「常任委員会の所管事務調査申合せ」の二つが並行しているが、昨年4月の委員会体制変更により内容が実態と合わなくなっている。これを機に申合せを定め直す。また、議員活動の申合せとして「個人活動」「委員会活動」「議会全体の活動」の3本柱で今年度中に整備する。申合せ案の主な内容として、4つの活動原則（わかりやすい・結果を出す・開かれた・行動する委員会）、委員会活動の3段階（調査→協議→提案）、調査の3原則と協議の4視点、年間計画のサイクル、質疑のルール、情報公開、委員派遣、正副委員長の役割、一般質問との関係、政策提言の2つのルートなどがある。条立ての原案と説明資料はAIで作成し、自身と前任の木幡主幹が確認・修正した。 |
| 委員 | 2番 吉田 | 資料の議員間討議前の配布タイミングについて確認。 |
| 委員長 | 9番 小椋 | 次回議会運営委員会は5月29日の予定。それまでに各委員が読み込んで意見を持ち寄る。29日は午後の時間も使って議論する見込み。 |
| | | 申合せ案の具体的内容は5月29日の次回議運で本格的に議論する。 |
| 委員 | 一同 | 異議なし。 |

令和8年第4回議会運営委員会 要点記録

| | | | | |
|------|-----|----|----------|---|
| 委員長 | 9番 | 小椋 | 議事 2 その他 | |
| | | | | <p>1 AI活用による一般質問作成支援 翌日4月14日に外山委員と土山先生（オンライン参加・観測者）の三者で、AIによる一般質問作成支援のデモを実施する。対話式で、キーワードレベルのテーマからAIとのやり取りを通じて一般質問を構築していく仕組み。約2時間で1件作成できる想定。今後、事務局の手間軽減にもAIを活用していく方針で、要点記録の作成などへの応用も検討している。</p> <p>2 事業情報検索システムの紹介 議会基本条例26条に基づき取得した事業計画の全件データを基に、AIで事業情報検索システムを構築した。総合計画・事業計画・予算書のPDFを分析してデータベース化しており、事業一覧・総合計画の章立て・新規事業・予算金額別・部署別など多角的に検索できる。AIの曖昧検索にも対応。半日程度で構築でき、PDFを投入すれば随時更新される。経営管理部の寺尾部長とも連携の方向で話している。</p> |
| 副委員長 | 11番 | 今西 | | 委員会の調査事項の継続的な把握にも活用できる。過去の調査履歴が追えるとよい。 |
| 委員長 | 9番 | 小椋 | | 委員会の要点記録や報告書もデータベースに蓄積すれば、事業データと調査履歴を1箇所参照でき、過去の議論の経緯が把握できる。次回の議員間討議で全議員にシステムをお示し、1年間試用する予定。 |
| 副委員長 | 11番 | 今西 | | 議員がデータに目を通す意識の共有も必要。 |
| 委員長 | 9番 | 小椋 | | ほかにあるか。 |
| 委員 | | 一同 | | 特になし。 |
| 委員長 | 9番 | 小椋 | 閉会挨拶 | |
| 委員長 | 9番 | 小椋 | 12:11 閉会 | |